

「セミナー・学び」の広場

12号館2階（201教室・202教室）

介護は介護保険法などによる制度と、“たすけあい”など制度に拠らない活動で成り立っています。

厚生労働省が進める地域包括ケアシステム^(注)について学び、東日本大震災の復旧・復興活動などを通じて、介護をより身近なものにしていただける意見交換、さらに被災地の宮城県で介護にかかわっている方々に登壇いただいてその体験と今後についての発表の場を設けます。

また、介護保険と同時にスタートした制度にもかかわらず普及が遅れている成年後見制度についても、ご理解を深めていただく講演の場も用意します。

注)「おおむね30分以内に駆けつけられる生活圏域」に対して「ニーズに応じた住宅、生活上の安全・安心・健康のための、医療や介護、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが適切に提供できるような体制」を創り出すこととされています。

201号室

202号室

10:30～12:00

地域包括ケアシステムについて

講師：厚生労働省老健局振興課長 川又竹男

パネリスト：本村昌文（介護者応援ネットワークみやぎ）

田中尚輝（市民福祉団体全国協議会）

これからの地域のあり方を考えるためには、介護保険制度が推進する「地域包括ケアシステム」を知っておく必要があります。厚生労働省の幹部に講演していただき、意見交換をします。

12:30～14:00

突然震災が起こったら…

—宮城県からの問い—

パネリスト：根田みどり（仙台市健康福祉事業団）

鳴海 幸（キャンパス仙台中央）

坂本久子（介護者ほっとサロン）

震災時の介護に必要なことは？異なる地域（仙台市、石巻市、岩沼市）、異なる立場（行政・ナース・市民）から東日本大震災の経験を通して問いかけます。

14:30～16:00

陽だまり市民評価委員会の報告

主催：生活協同組合パルシステム東京

報告者：沖倉 紅児（地域コミュニティ活動・事業活動本部本部長）

寺田 美恵子（陽だまり市民評価委員）

当組合福祉事業所「陽だまり」のサービスの「介護計画・リスクマネジメント活動・利用者満足度・情報公開」を、組合員・市民の視点で客観的に評価して見えたこと、委員会設置までの経過も含め報告します。

市民後見を語ろう！ 講演

主催：成年後見推進ネットこれから

講師：和久井良一（市民後見人の会代表）

認知症や障がいを抱えた人の生活を支援する成年後見の必要性が高まっています。後見人を地域で一般市民が担う市民後見の可能性を語ります。参加者との意見交換を！